

連携だより

令和元年

6 月号

令和元年6月1日発行

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <http://kure.hosp.go.jp>

E-mail kure-renkei@kure-nh.go.jp

理念

相手の心情に寄り添う愛のある医療を笑顔で実践します
Practice medicine from the heart,
create smiles every day

運営方針

LOVE and SMILES

6月の花 アジサイ



今月号のトピックス

- 乳腺外科紹介（乳腺外科科長 重松 英朗）…………… 1
- IMRT（強度変調放射線治療）紹介（放射線腫瘍科科長 幸 慎太郎）… 3
- 消化器内科専門外来『炎症性腸疾患外来』新設のお知らせ
（消化器内科医長 桑井 寿雄）…………… 4
- 新任MSWの紹介…………… 4
- 病理外来からのお知らせ…………… 5

呉医療圏の乳がん診療における当院の役割

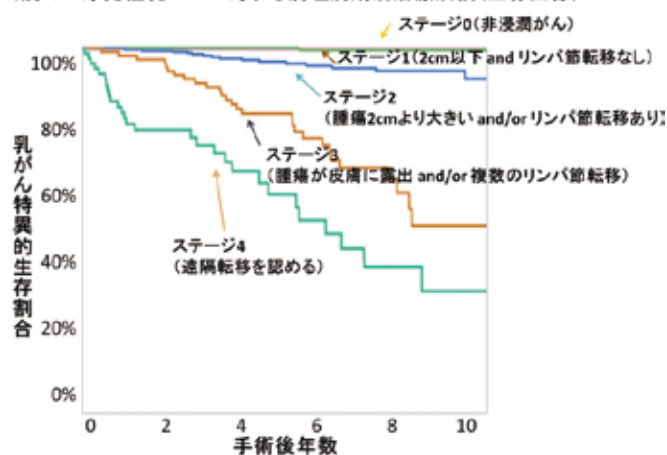


乳腺外科科長
重松 英朗

貴院におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より当科にご高配いただき、ありがとうございます。

さて、新年度を迎え当科は重松英朗(科長)、吉山知幸、安井大介の3名体制で診療にあたり、乳がんを中心に乳腺疾患すべてに対応しています。当院は日本乳癌学会認定施設として年間100例以上の乳癌患者さんを担当し、これまでに1000例を越える原発性乳がんの手術を経験しています。当院での原発性乳がんに対する進行度別の治療成績と、年度別推移のグラフを図に示します。早期の乳がんは治療により高い確率で根治することが出来ます。一方で病期が進行した乳がんは治療により根治や進行を遅らせることは可能ですが、早期乳がんと比較すると治療成績が劣ってしまうことは否めません。乳がんを根治する可能性を高めるため

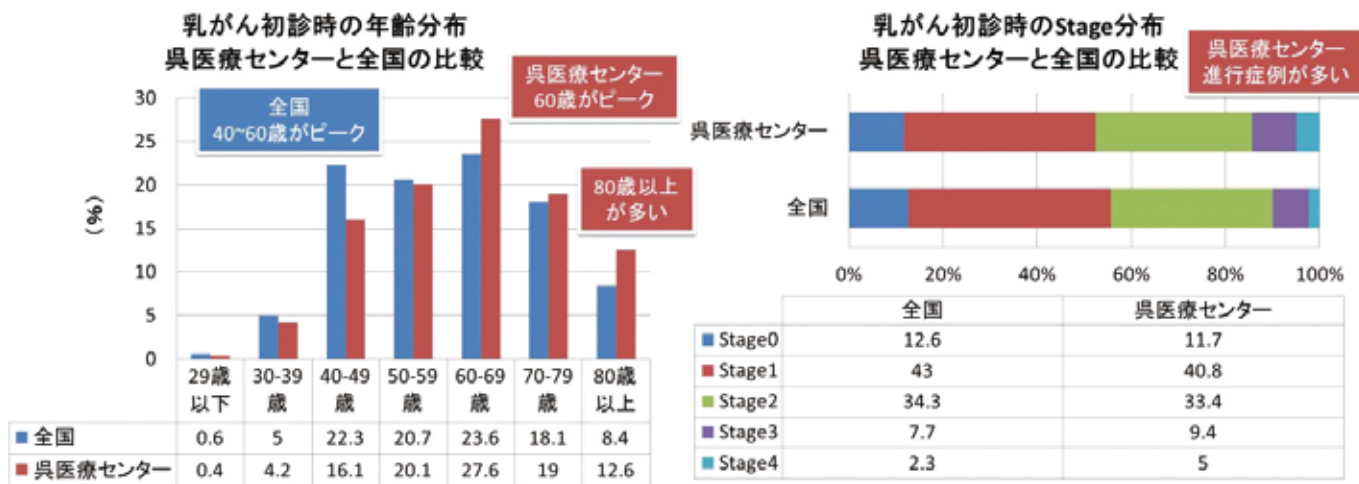
当院での原発性乳がんに対する病理病期別治療成績(生存曲線)



早期の乳がんは治療により高い確率で根治することが出来ます。一方で病期が進行した乳がんは治療により根治や進行を遅らせることは可能ですが、早期乳がんと比較すると治療成績が劣ってしまうことは否めません。乳がんを根治する可能性を高めるため

には早期発見が重要なことは間違いありません。

自分は九州がんセンターで3年間、広島大学病院で6年間乳がん診療に携わり、2016年4月より呉医療センター中国がんセンター乳腺外科で勤務をさせてもらっています。当院での乳がん診療を通じて、呉医療圏の乳がん患者さんは『高齢者が多い』および『進行乳がんが多い』ことを感じました。感じるだけでは何の解決にもなりませんので、乳腺外科データベースをもとに『乳がん年齢分布』および『乳がんStage』について当院と全国データを比較しました。結果として、いくつか興味深い所見が得られました。



(当院乳腺外科データベースと2015年日本乳癌学会年次登録を比較検討)

呉医療圏の乳がん特徴

- ・ 60歳代の乳がんが最多 (全国は40～60歳)
- ・ 80歳以上の乳がんが多い
- ・ Stage 3、4 の進行した状態の乳がんが多い

呉医療圏では乳がんの高齢化を認め、進行した状態の乳がんが多いことが確認されました。さらに当院における80歳以上乳がんの20%がStage3、4の進行した状態の乳がんが発見されていることが分かりました。これらの結果から、呉医療圏の乳がん診療では高齢化対策が重要であり、高齢乳がんの問題点として進行した乳がんが発見されることが多いことが挙げられるのではと考えました。

高齢者乳がんの診察をするとご本人からよく以下のような言葉をお聞きします。

- ・ 『乳がんは若い人の病気だと思っていた』 → いえいえ、高齢者にも乳がんは発生するんです
- ・ 『年をとっているから乳がんも大人しいと思っていた』 → 残念ながら乳がんの悪性度と年齢は関係ありません
- ・ 『先は長くないから乳がんのことはほおっておいた』 → 大丈夫、病院を受診できる方はまだまだ元気に過ごせます！

“年をとると乳がんを心配しなくてもいいわ”あるいは“乳がんの治療は出来ないわ”ということは決してありません。乳がんに対する手術は侵襲が小さく、ホルモン療法のように副作用の少ない薬物療法が選択できます。乳房にしこりがある、乳がんが心配な患者さんがおられましたら、年齢に関

係なく当院乳腺外科にご相談ください。当科は高齢者乳がんの診療経験が豊富にあります。最善の対応をさせていただけると考えます。

今回、このような報告ができたのは、当院に多くの患者さんを紹介してくださっている近隣の先生方および乳がん診療を支えてくれている呉医療センター乳腺外科スタッフ一同のお蔭と考えます。今後も、当院にご紹介をいただいた患者さんには最善の医療を提供したいと考えます。お困りの症例などありましたら、一度ご相談いただければ幸いです。治療後は綿密な情報共有の下、引き続き貴院にて日常診療をお願いしたいと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

IMRT（強度変調放射線治療）について

放射線腫瘍科 幸 慎太郎

当院の放射線治療は、放射線治療機器Helical TomoTherapyを用いて行っております。Helical TomoTherapyは高精度放射線治療専用装置であり、中四国地方で初めて当治療機を導入し、2012年3月より治療を開始致しました。

また、今年4月より放射線治療医増員により常勤医2人体制となり、正式にIMRT（Intensity Modulated Radiation Therapy：強度変調放射線治療）を開始致しました。頭頸部がん、前立腺がん、脳腫瘍など様々ながんに対し、より副作用を軽減した治療が可能となっております。

加えて、当科では呉地区で唯一、転移性脳腫瘍に対し脳定位放射線治療を行っており、広島市内まで通院、入院することなく、当科外来でも可能な副作用の少ないピンポイントの照射を行っております。

ぜひ、今後とも放射線治療に関してはもちろんのこと、がんの痛みに関してなど、呉地区の開業医、勤務医の先生方より幅広くご紹介いただければと思います。

今後とも引き続き、呉医療センター・中国がんセンター放射線腫瘍科をどうぞよろしくお願い申し上げます。



Helical Tomotherapy



放射線腫瘍科スタッフ

消化器内科専門外来－炎症性腸疾患外来－新設について



消化器内科医長
内視鏡センター長
桑井 寿雄



消化器内科医長
楠 龍策

消化器内科医長内視鏡センター長 桑井 寿雄

本年6月より、消化器内科に新たな専門外来として「炎症性腸疾患外来」を設置しました。本年4月より消化器内科に赴任した楠龍策医師が担当となります。

楠医師は呉市広出身で、平成15年島根大学卒業後はそのまま島根で勤務しておりましたが、このたび縁あって地元の当センターで勤務することとなりました。これまで消化管疾患のなかでも特に「炎症性腸疾患」について研究と診療を行っており、豊富な知識と経験を持っております。

炎症性腸疾患はおもに若年者で発症する原因不明の消化管の炎症性疾患で、近年日本でも患者数が急速に増加していることが報告されています。症状は、下痢、腹痛、発熱、血便がおおく、難治性の痔瘻や口内炎を訴える方もおられます。感染性腸炎や内痔核として見過ごされる場合もあり、活動性が持続する場合にはQOLが低下し、社会生活が難しくなるかたもおられ、進行すれば狭窄や瘻孔をきたし外科手術が必要となることも多い疾患です。また、この分野は治療法が急激に進化しており、たくさんの生物学的製剤が発明され多岐にわたる治療法から適切な治療を行うには高い専門性が必要です。このことから新たな専門外来である「炎症性腸疾患外来」を設置することとなりました。

炎症性腸疾患のなかでは潰瘍性大腸炎、クローン病が代表的な疾患ですが、その他にも好酸球性胃腸炎、NSAID小腸潰瘍、ベーチェット病など本専門外来の対象疾患は多岐にわたります。慢性的に下痢や腹痛を訴える原因不明の患者さんがおられましたら、すこしでもお力にならせていただければと思っております。「炎症性腸疾患外来」へのご紹介をどうぞよろしくお願いいたします。

新任MSW紹介

MSW

増本 篤志



呼吸器内科、脳神経内科を主に担当しています。地域の皆様と連携し、患者さんやその家族の生活を支援していきます。

MSW

新宅 沙織



初めまして。今年度より地域医療連携室に入職しました新宅沙織と申します。

当院の理念であります「**LOVE and SMILES**」に則り、患者さま、家族さまと共に悩み考え、希望に沿ったご支援をさせて頂こうと考えております。

また、地域の皆様に愛されるソーシャルワーカーを目指し精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

病理外来からのお知らせ

入梅の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度4月1日から病理外来を下記診療体制で開設しております。

患者の御紹介を受け付けますので、宜しくお願い致します。

診 察 医：呉医療センター・中国がんセンター名誉院長 谷山清己

診療曜日：水曜日・金曜日

診療時間：午前8：30～12：00

問い合わせ先：呉医療センター地域医療連携室（直通）

電話番号：0823-22-3816

F A X：0823-32-3070

消化器合同オープンカンファレンス

日 時 令和元年 **6月5日（水）** 19：00～

場 所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1・2

演 題 肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、
画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討。

症例1：「上行結腸の側方発育型病変に対し

ESDによる切除を試みた症例」

症例2：「全主膵管拡張を伴う膵頭部嚢胞性腫瘍に対し

亜全胃温存膵全摘術を施行した1例」

定期講演会のご案内

日 時 令和元年 **6月19日（水）** 19：00～20：00

場 所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1・2

演 題 「乳癌診療のトピック」

座長：外科医長

清水 洋祐

演者：乳腺外科科長

重松 英朗

内科オープンカンファレンス

日 時 令和元年 **6月27日（木）** 19：00～

場 所 呉医療センター・中国がんセンター 研修センター1・2

医長講義 血液内科科長 伊藤 琢生

症例1：循環器内科医師 木下 晴之

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8:30~17:15 0823-22-3111

土・日および夜間 17:15~8:30 0823-23-1020

がんサロンのご案内

日時：6月14日（金）
14:00~15:00

場所：外来棟4階 第3研修室
内容：「感染予防について」

オストメイトサロンのご案内

日時：6月27日（木）
14:00~15:00

場所：外来棟4階 第3研修室
内容：「スキントラブルについて」



第108回

「がんサロン」のお知らせ

内容 感染予防について

講師 感染管理認定看護師

日時 2019年 6月 14日(金)
14:00 ~ 15:00

場所 呉医療センター・中国がんセンター
外来棟 4階
地域医療研修センター第3

※ 申し込み不要
院内外問わず、
どなたでも参加自由です。



＜お問い合わせ先＞
呉医療センター・中国がんセンター
がん相談支援センター
☎ 0823-24-6358
平日 9時～16時

6月の時間外 研修会／勉強会



【連絡先】
独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係（教育企画室）
広島県呉市青山町3番1号／TEL:0823-22-3111／FAX: ー3111／E-mail: http://www.kure-nh.go.jp/



研修会名	日 時		場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外	対象職種
	6月1日	(土)					
緩和ケア研修会	6月1日	(土)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 緩和ケア科	緩和ケア科	院内 向け	全職種
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上下部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討。	6月5日	(水)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器内科	○	全職種
コメディカルのお薬勉強会 「医療用麻薬について」	6月10日	(月)	11Fカンファレンスルーム	呉医療センター・中国がんセンター 薬剤部 章 勇樹	薬剤部	院内 向け	看護師 助産師 コメディカル
医療機器安全使用に関する研修会 「保育器－アトムメディカル－」	6月11日	(火)	11Fカンファレンスルーム	アトムメディカル 平野 源太	ME管理室	院内 向け	全職種
第2回 TCSA勉強会 経腸栄養の基本を知らう！！ 栄養の裏について（経脈栄養と経腸栄養の薬剤） 感染症における薬物治療のQ&A	6月17日	(月)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 栄養管理室 平松 佑美 薬剤部 伊勢田 諭 薬剤部 坂井原 美希	栄養管理室	○	全職種
地域医療研修センター定期講演会 「乳癌診療のトピック」	6月19日	(水)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 乳癌外科科長 重松 英明	地域連携室・管理課	○	全職種
BLS（一次心蘇生法） 「CPR（心肺蘇生）」「AED（自動体外式除細動器）」	6月20日	(木)	呉医療技術研修センター	呉医療センター・中国がんセンター 蘇生教育チーム	呉医療センター 蘇生教育チーム	院内 向け	全職種 ※事前申込要 参加費：技術研修センター 高浜（7096）
医療機器安全使用に関する研修会 「除細動器」	6月27日	(木)	11Fカンファレンスルーム	ME管理室 久恒 一馬	ME管理室	院内 向け	全職種
内科オープンカンファレンス	6月27日	(木)	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 医長講義 血液内科科長 伊藤 琢生 症例1. 循環器内科医師 木下 晴之	内科	○	医師（初期研修医含む）



自己研鑽で専門性を高めましょう！！

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1-1 地域医療連携室
独立行政法人 国立病院機構
呉医療センター・中国がんセンター
中野 喜久雄 清水 洋祐
森下 早苗 折本 陽一
川島 美由紀
TEL：(0823) 22-3816